

令和6年度 第2回

# 日南市教育委員会

会議録

令和6年5月22日(水) 午後3時から  
日南市役所・別館2階会議室（会議室4）

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第2回会議（定例）
- 2 会議日時 令和6年5月22日(水)  
午後3時から午後4時10分まで
- 3 出欠確認
  - (1) 出席委員 都甲政文 黒木由香 別府信一 八木真紀子 佐藤泰信
  - (2) 事務局 教育部長兼学校教育課長  
学校教育課学校教育担当監  
生涯学習課長  
学校教育課課長補佐兼管理係長  
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所・別館2階会議室（会議室4）
- 5 傍聴者 3名
- 6 開会  
【都甲教育長】  
「それでは、令和6年度第2回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認  
  
【都甲教育長】  
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」  
  
【田中部長】  
「事務局は、全員出席です。」  
  
【都甲教育長】  
「傍聴者は本日3名見えております。よろしく申し上げます。」
- 8 教育委員の異動  
【鬼東部長】  
「教育委員の異動についてでございますが、別府委員の方が令和6年5月19日から令

和 10 年 5 月 18 日までの 2 期目の任期に入られたところでございます。先日、市長の方からも辞令交付があったところでございます。これから 4 年間、どうぞよろしく願いたいいたします。」

#### 【都甲教育長】

「次のロサンゼルスオリンピックまでですね。わかりやすいですね。では別府委員、一言いいですか。」

#### 【別府委員】

「先日、辞令交付式で 2 期目の任命をいただきました。もう本当 2 期目ということなので、また、1 期目とは違った形で教育現場の方ですね、またいろいろと勉強しながら盛り上げていけたらいいなと思っておりますので、また今後ともよろしく願います。」

## 9 活動報告

### (1) 教育長活動報告

#### 【都甲教育長】

・4 月の 24 日 25 日 26 日、今回の異動で日南に来られた校長先生方の訪問をさせていただきました。これは前からの続きで全員で 8 校だったんですかね。回らせてもらってですね。学校経営に対する思いを聞かせていただいて、激励っていうかですね、頑張ってくださいということを書いてきました。

・4 月 30 日、部活動指導員の委嘱状交付式ですね。その研修会があったんですけども、市内 7 つの中学校にですね、12 名の指導員を今年も配置すると、そのうち新しい方が今回 3 名でした。そういう委嘱状を渡したんですけども、その時お願いとしてですね、もちろんその競技の力量を高めるってもありますけども、部活動ってのは人づくりでもありますので、そういうところもお願いしました。

・続いて 5 月 1 日に校長会です。ちょうど連休のはざまだったもんですから、改めてですね、児童生徒の安全等の危機管理についてお話をさせていただきました。

・5 月 7 日、高校を考える意見交換会。今の高橋市長がですね、就任当時から高校生までは日南で学校に通ってくれんかなという思いがあってですね、こういう会を立ち上げてるんですけども、3 校の校長先生それから中学校の校長先生の代表に来てもらって、まずは今年度の入試の状況、高校側からそして中学校側から意見を出してもらってですね、それを受けて、中高の進路指導担当が集まるですね、作業部会がありますので、具体的に詰めていくと、今年もそういうことになりました。

・続きまして、5 月 8 日からなんですけども、まず 8 日は九州都市教育長協議会。これは九州の全部の教育長が集まったんですけども、これは毎年の例会でですね、新役員とか事業報告とか決算をしたところでした。そして今年は長崎で全国の都市教育長会議がそのままあ

りまして、9、10 だったんですけども、この全国都市教育長協議会も九州と同じようにいろんな決め事もあったんですけども、こちらはですね、1 日目の午後から教育上行財政とか学校教育とか生涯学習の研究部会がありまして、それでですね、活発な意見交換がなされておりました。

・続きまして5月17日金曜日、宮崎県租税教育推進中央協議会総会。これ、私は県南の方の会長してますので出たんですけども、前年度の報告や今年度の予算について審議されまして、承認されました。

・同じ日の夕方ですけどもスポーツ協会の理事会。これ今まで私は参加してなかったんですけども、生涯学習課にスポーツ関係がまた戻ってきたもんですから、今年から参加させてもらいました。これも同じようにいろんな決めごとの審議と承認があったんですけども、そのあと意見交換ということですね、いろんな分野の方とお話することができました。国スポが控えていますので、何かこう機運が高まっているなという感じを受けました。

・5月の18そして19は、初めてなんですけども5月の運動会、小中一貫校と中学校の運動会体育大会でした。私は榎原小中の合同運動会と鶴戸小中、油津中の運動会に行かせてもらう予定だったんですけど、鶴戸小中は途中でだめ、延期って来たんで行っていないんですけども。皆さんもですね、行かれた方、ちょっと後で感想等をお願いいたします。

・そして先ほどありましたように、5月20日は別府委員のですね、教育委員2期目の辞令交付式ということになります。

・それから21日昨日ですね。南那珂育英会理事会がありまして、エリアの皆さんに集まっていたいてですね、今年度の活動や決算の報告がなされたところでした。

## (2) 委員活動報告

### 【別府委員】

5月19日に、北郷小中学校の運動会に行ってきました。初の5月の開催ということで楽しみにしていたところではあるんですけども、あいにくの天気で、開会式後延期が決定という結果になってしまいました。近くにいた保護者の方からいろんな意見は出ていたようなんですけれども、小学校低学年のことを考えたりとか、また安全面のことを考えても、正しい選択だったのではないかなと思いました。

### 【佐藤委員】

私も5月19日東郷小中に行きましたが、残念ながら開会式までやったんですけど延期ということで、卒園生もいたんで非常に楽しみにしてたんですけど残念でした。が、いいこともありまして、雨が結構入ってくる。で、来賓の方が来て、椅子がですね、ちょっと不具合があって、なかなか座れなかった来賓の方がいらっしやったんですよ。そしたら、中三の放送委員の子がさっと来てですね、椅子変えましょうって言って、後ろの来賓何とかって紙まで剥がして、自分のに張りかえて座っていただいたということが、もう非常に

主体的に動ける子だなあと、名前見たらうちの卒業生でしたけど。私が来る前の卒園生で、私は全然影響していないんですけど、さすがというか中学生違うなあと。言われなくてもですね、ちゃんと動いてるのが、それを思うとですね。

来年にちょっと期待したいなと思うのは、1時間ですよ。いつ始められるかどうかかわからないで、子供たちはテントの中でずっと待ってたわけですよ。それもすごいなと思うんですけど、やっぱり『こども大綱』なんかでも子供の意見をどんどん聞きましょうということだから。それだけしっかりしてる中三の子たちだったらですね、団長とかちょっと呼んで、まだちょっとできそうにないと。こう言うと、ひよっとすると団長はそこで応援の練習させてくださいとかですよ。体育館に移動させてくださいとかですよ、あったかもしれないなと。非常に頼もしい子たちだったんで、そういう子供たちが自由裁量で動けるチャンスというのもあってもよかったんじゃないかなとね、あんだけしっかりしてる、1人ですけど、目の当たりにしたのは。でも本当に厳しい状況の中ですね、きちんと待つこと自体がすごい。そこを生かして考えてやってごらんってすると、面白いことが起きたんじゃないかなっていうのはちょっと。

それから昨日ですけど、こども部会っていうかですね。これは発達支援事業所をちょっとうちの幼稚園が5月から始めた関係で、そういった発達支援事業所対象の会議があります。これは福祉課の方が主催した、ちょっと資料持ってくるの忘れたんですけど、福祉課の方が主催している子供自立支援何とか会議とかいう部会がいろいろあって、作業部会とか何とかっていうのがあって、青年のところとかで子供部会っていうのが4つのうちの1つなんですけど、そこで年間の活動の計画等を話し合ったんですが、テーマが不登校だったんですよ。で、やっぱり支援が必要としてる子供たちにとっては、なおさら身近な問題で、それが不登校の原因になってるかどうかっていうのはなかなかわかりづらいところなんですけど、やっぱり誰1人取り残しちゃいけないということで、発達支援事業に関わってるメンバーですね、そういった不登校をちょっとでもどうにかできないかというのを1年間、話し合いましたということになりました。テーマがテーマですし、今後こども課とかですね、それから学校教育課とか、やっぱり関係するところも今後はお声掛けをするということでしたので、ぜひぜひ一緒にですね、考えていけるといいなと思って。愛泉会の先生からも話があったんですけど、やっぱりこども家庭庁ができて、子供の問題というのは、関係庁がですね、バラバラで担当するんじゃなくて、やっぱり1つでやっていかないとっていう流れになってますんで、そういうことであればなおのこと、関係するところはぜひ一緒っていう、いろんな会があるから大変かとは思いますが。そういう一緒にやっついていこうっていうところがですね、できていくといいなと思ったところで、また、そこで頑張りたいと思います。

#### 【黒木委員】

私も19日曜日に細田中学校の体育祭に行かせていただいて、全校生徒が22名で、

もう団に分けると、11名11名ずつの運動会なので、もう子供たちはずっと出っ放し。だから応援団も全校生徒、もう競技も全校生徒。徒競も自分たちが走らない、男子が走るときは女子が係をして、女子が走るときは男子が係をするということで、せめて地域の人の競技の時に子供たちを休ませてあげようということだったんですけど、あの雨だったので、ちょっと地域の方に綱引きしたり玉入れしたりさせるのは怪我や汚れたら大変ということで。校長先生の計らいもあって、もうなしということで、もう子供たちがとにかく最初からフルにずーっと走り回る体育祭で、最後団技応援リレーのところで雨がちょっと激しくなってきたので、体育の先生が子供たちのところに行って、どうするかと。そしたらもう子供たちも即答でやります、やりたいですって言って、よしわかったって言って。そこから放送でグラウンド整備をしますということで、保護者の方、私もお手伝いをして、もう土を全部入れてトンボで均してっていうのも20分ぐらい作業したのかな。それで最後の競技に子供たちが臨むことができ、もうちゃんと最後まで閉会式までやり終えることができ、その頃にはもう天気も良くなってよかったんですけども。その土入れをした後とかに子供たちが、ありがとうございますって感謝の気持ちを保護者とかその手伝ってる方一人一人に頭を下げる姿にすごい感動して、なんかこうちっちゃい学校だけど、こういう学校を残していかないといけないなあっていうふうに本当に思った、思い出すだけでもちょっと涙が出そうになるぐらい感動した体育祭でした。またぜひいろいろな方にもこういった小規模校の体育祭に行っていていただいて、よさを知っていただくといいなと思いました。

#### 【佐藤委員】

子供に聞きに行ったわけですか。素晴らしいですね。

#### 【黒木委員】

22人しかいないから、もう子供の意見を。でももちろん先生方も保護者の方も子供の意見があれなんで、保護者も傘を差しながら、もう来賓テントも雨と風で濡れながらだったけど、誰1人帰ることなく、最後まで見守ることができたので、多分すごい思い出に残る体育祭だったと。

#### 【八木委員】

私は予定があっってちょっと運動会に参加できず、すみませんでした。私こないだ佐藤委員が「こども大綱」について言われてたんで、それが気になっていろいろ調べると、やっぱり子供たちがみずから計画して自分たちが幸せになれるようにという目的で。小学校とか中学校もですかね。もう結局、どこまでなのかなと思うんですけど。

#### 【佐藤委員】

大学まで全部入ってるんですね、このマップ見ると。出産、妊娠期からダーツといっ

て、授業料後払い制度だから、大学まで一応子供ということで入ってますね。

### 【八木委員】

やっぱりそういう日南独自の、ほんとかども課とかそういう垣根を取っ払っていろんなことができるようになればですね。そのことができたらいいのかなとすごく考えて、そういうことをまた論議できたらいいかなと思いました。

### 【都甲教育長】

5月にですね、体育祭を持ってきて初めてだったんですけども、私土曜日に榎原に行っただけですね、小中学校。いい天気で、これが本来の5月の運動会だなあと思って。風が吹いて新緑の中、ああいう感じだったんですけども、いろいろ先ほどから出ますように、雨は雨で学ぶこともたくさんあったと思うんですよ、やっぱね中学生は。中には、強行で最後までやった学校、まだ途中でどうしてもやめなきゃいけない学校。私油津中学校に行っただけですけど、校長がずっと考えてるんだろなあ、いつ切るかって背中見ながら。長靴を履いて、こうやって見てらっしゃるんですよ。やっぱ思ったのは、一生懸命子供たちがやってるんですけど、危ないからカーブとかスピード落とせって言わなきゃいけないですよ。それはちょっときついただろなあと思って。いい条件でね、やらせることが。そこで校長のふんぎりがついたんだと思いますけど、それも各学校の状況次第ですけど。保護者の方にとっても、何かいろいろ考えてもらう材料になるのかなっていう。またPTAの方と学校でいろいろ話をしてね。先ほど出てるように子供たちも交えてどうするとかいうのもありますし、先ほどおっしゃったように、子供がどっかこっち置いておかれて、じゃあこれからどうするのかっていうよりは、そういうのやっぱまぜてもらってというのはやっぱ全然違うでしょうね。全然それで納得感もあるし、また、校長会の中でもこのテーマですね、お話をいたしたいと思います。

### 【黒木委員】

今回5月に開催をしてよかったなと思ったのが、子供たちにはこれから先もっと行事がいろいろあるじゃないですか。細田は特に小さい学校だからっていうのもあるんですけど、この体育祭に向けての取り組み、子供たちの取り組みで、きずなが深まったところで、これからの行事に取り組んでいけるので、深まりがちょっと違うんじゃないかなっていうふうに感じました。5月、年度初めでちょっと入学式の後大変かもしれないけど、今後の学校生活における子供たちの気持ちとかきずなとか、先生保護者に対しての気持ちっていうのが、また秋とはちょっと違う、中盤であるよりも何か良いんじゃないかなあと思ったところが1つありました。これから一緒にやっていこうというその子供たちの繋がりがすごく、1年生から3年生までできたんじゃないかなっていう気がしたので。

10 前回の議事録承認  
第1回の議事録について了承

11 議題について

協議1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(上村補佐)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について説明。
(都甲教育長)	今の説明につきまして、ご質問ご意見等がありますか。 ぜひ厳しい目でシビアに見ていただけると。特にシート3については、教育長に委任するってやつですね。よろしくをお願いします。

協議2 学校訪問について（方針等）

(藤岡担当監)	学校訪問（方針等）について説明。
(都甲教育長)	今の説明につきまして何か質問等ありますか。 皆さんに行っていただく単独訪問につきましては、事前に資料をお配りしてるわけですが、学校によってですね、細かい資料のところもあるし、大ざっぱな資料のところとかもあるんですよ。だから私は思うんですけど、資料に書いてないことでも、何かしらこう聞いてみたいということがあればですね。遠慮なく聞いていただきたいなど。それを答えるのはやっぱり学校ですので、例えば地域とのこととかですね、いろんなことがあると思うんですよ。それはご自身で考えたことを言っていただけの方がいいのかなと。逆にそういうことがあった方が、学校としても何かこう、そういうことを聞いてもらってありがたいのもありますので、ぜひそういう意味じゃ、この単独訪問も毎年毎年何か、できれば皆さんと一緒に良いものにしていきたいなと思いますので。まとめたものが返ってくるんですよ。訪問を受けて記録がですね。やっぱり非常に学校側としては素直にっていうかですね、しっかり受けとめてくれて、今後こうしていきたいというのもやっぱりくれるので、そういう意味じゃまた今年も皆さんにご協力いただいてですね。しっかりしたものにしていきたいと思いますので、ぜひお願いします。遠慮なくいろんなことを聞いていただくということをお願いします。
(佐藤委員)	授業参観はやっぱりなかなか時間は取れないということですよ

ね。

(都甲教育長)

そうですね。やっぱり時間帯でしょうね。5 時間目 6 時間目とそうになってきて、今度は先生たちがなかなかそのあと会議に参加できなかったりするからですよ。そこへんちょっとあれかなと思うんですけど、特に低学年がもういないんですよ、行った時には。

(佐藤委員)

別の機会に訪問っていうのは可能ですか。

(都甲教育長)

全然もうそれは行ってください。全然可能ですよ。この前授業が見られなかったから見にいけますということでアポを取って。うちに一報いただければ、例えば佐藤委員が今度何時ごろ行かれる予定ですからお願いします、ということで、はい。ちょっと抜き打ちは意地が悪いのでね、先に言っておくといいなあとと思って、佐藤委員が例えばどんなところが見たいとか、例えば低学年が見たいとかですね。例えば体育の授業が見たいとかおっしゃったら、学校としてはこういう時間帯に来てもらうとありがたいってなるからですよ、そこは皆さんぜひ。

(八木委員)

研究授業とかも見せていただいたりしたこともありましたね。

(都甲教育長)

そうですね。指定とか受けている、自分の学校の校内研究でやってる研究授業もやってますので、今特にその 1 人 1 授業ってやつで、やってるところもあるからですよ。そこにどっか入らせてもらうとか。あと、初任者も授業をやってますので、定期的にそれを見に行ってもらうとかありますし。先ほどから出てる、細田中学校あたりは今年は県のですね、みずから SOS を発する研究をやってるんですよ。そういうのをね、ちょっと見に行ったりですよ、子供の活動。そんな形でですね。そういうのを県の人権同和が各学校に投げて、細田中が手上げたらいいんですよ。だからそういう意味でも、また 1 年間を通して何かしら成果を残してくれて、細田中の校長には良い機会だから、2 月ぐらいの校長会でまとめたものをちょっと、みんなに還元してくれて話したんですよ。もちろん県で発表しなきゃいけないらしいんですけどね。

(佐藤委員)

私は幼稚園の方をやってるからですよ。やっぱり 1 年生とのかけ橋プログラム、どんな感じで繋がるかってのは非常に気になるし、幼稚園側もですね、こんな感じでいいのだろうかというところは非常にあるので。実際のところですね、もう全然そんな、見せるためじゃなくて、普段のでもいいですね。この辺やっぱり足りてないとか、この辺やっぱり意識づけが必要だなとかいうところですね。やっぱり現実としてもできないので。

(都甲教育長) 武田が委員会の窓口ですので、武田の方に連絡していただければ、調整させてもらいますから。こっちの学校のね、担当の方と。ぜひそういうところはまたやっていただければありがたいです。

### 協議 3 法令・条例に基づく委員の任命・委嘱について

(重永課長) 法令・条例に基づく委員の任命・委嘱について説明。  
(都甲教育長) 社会教育委員、入れ替えがあったわけですがけれども、よろしいでしょうか。

### 協議 4 市指定文化財の新規指定について

(重永課長) 市指定有形文化財の新規指定について説明。  
(八木委員) 市指定天然記念物の新規指定について説明。  
琵琶は音は聞けないんですか。  
写真で見てお分かりのように、一番右のものは弦がもうないよう  
でございまして、無理して鳴らそうと思えば、他の弦が残ってるも  
のは鳴らんでもないと思うんですが、保存状態の良いものは当然  
鳴ると思うんですが、それを今後ちゃんとしっかりと管理していく  
とのことで、松尾の丸の方で所蔵しております。  
(都甲教育長) 所蔵っていうことは、行った人は見られない。  
(重永課長) 今は展示は多分してないと思います。  
きちっと今後管理していけば、そういった機会も出てくるやもし  
れません。せっかくの指定を受けますので、保存状態の良いもので  
あればですね、それぞれそれなりに見せることもできるでしょうけ  
ど、保存の状態がっていうか現在の状態がちゃんとしたケースに入  
れたりとか、いろいろな方法を取らないとですね、壊れてしまっ  
てはもう大変ですので、そういった部分も学芸員の方がですね、今後  
は調整していくことになるかと考えます。  
(都甲教育長) こういうものは基本的には修復はせんとですか。  
(重永課長) 修復はですね、なかなか難しいものもあるとは思いますが、ただ、  
建物とかはですね、結構いろいろあったりとかあってですね、私も  
ちょっと専門的に詳しくはないんですけども、なんですかね、修  
復していいものと悪いものがあるって、多分そういったものの基準が

	あるのではないかと、ちょっと詳しくここで説明できなくて申し訳ないんですけど。
(都甲教育長)	わかりました。
(八木委員)	ツマベニチョウは、沖縄では幸せを呼ぶ蝶と言われてすごい縁起が良くて大切にされてるので、日南でもそういうふうになればいいなと思います。鵜戸小中学校にたくさん植えてありますよね。ギョボク。子供たちも一緒に親しめばなあと。
(重永課長)	ギョボクを好んで食すということで、それに繭を作ってますね、そこで孵化するっていうことで。
(都甲教育長)	こうやって指定はしたけど、やっぱり、蝶に詳しい人たちにとっては、もう知る人ぞ知る場所なんですね。鵜戸神宮はですね。
(重永課長)	あとは、大島にもツマベニチョウの他に、アサギマダラという海を渡ってくる蝶もいます。研究をされている方もいらっしゃるの、定着は当然このまましていくのではなかろうかと思います。
(佐藤委員)	子供たちにまたあれですか、何か紹介するような。
(都甲教育長)	そうですね、鵜戸小中学校についてはね、地元やから、こういうふうになったよっていうふうにな、やっぱりしてあげてもいいのかなと思ってます。
	本当こっこの琵琶についてはまた企画して、お披露目する場ができるという線がね。せっかくいただいて、やっぱり送られた方もねそうしてもらおうと喜ばれるんじゃないかと思うからですよ。
(八木委員)	すごく楽しみです。

## 12 その他

### (1) 6月行事予定について

### (2) 第3回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和6年6月20日（木） 午後3時から
- ② 場所 日南市役所・別館2階会議室（会議室5）

### (3) その他

#### 【佐藤委員】

映画を見まして、「夢見る給食」という。良かった。もう終わりましたが。いろんなオーガニック給食を取り入れてる自治体の例ですね。例えば佐渡とかはですね、天然記念物のトキがもういなくなって、結局農薬をいっぱい使うから、えさがないわけですよ。だから食べるものがないから当然いないみたいな。そこで有機で農業やりましょうというようなものを町を挙げてやって。そしたら化学肥料も農薬も使わないんで、田んぼがまた微生物いっぱい、そこでできたお米とかはもう栄養価がやっぱり全然違うらしいですね、1.7倍ぐらいとか。それを給食にも出す。もう子供たちも、いろんなところのちょっと実際のデータとまじってますけど、基礎体温がですね、平均の体温がやっぱり0。何度か上がって、欠席が減る。いろんな皮膚病なんというかアレルギーとかも減る。結局免疫力が上がってるわけですよ。欠席も減る。発達障害じゃないかと言われてる子供たちが落ち着いてくるとかですよ。その食べ物ですごく変わったと、田んぼの方もそうやって微生物がいっぱいいるんでトキがですね、帰ってきたらしいんですよ。もうだから、子供たちに何を残すかっていうところで、給食の無償化っていうのももちろんいっぱい広まってるんですけど、それに関連したところはもうあえて無償化はせずにオーガニック食材を取り入れると、給食費が1.5倍とか2倍ぐらいになるんですよ。その上がる部分を行政の方が補填してあげて、それを実現させて、子供たちは元気になると、自然も元気になるわけです。無農薬でするから、環境もよくなる。だから子供たちに何を残すかって考えてお金使い方考えると、元気な体とその豊かな自然、これを残したいっていうので、されてました。

宮崎県では綾町がオーガニック給食やってるっていうことですね。1つの農家さんだけが無農薬、有機って言っても、周りが農薬撒いてしまえばそれは難しいことらしいんですけど。JAとかがですね、しっかりそこへもサポートされてるということで、農家さんも本当は良い野菜を作りたいわけですよ。そんな薬を撒かなくてもいいようなおいしい野菜。でも生産性がそれでは採算が取れないんで。だけど、給食で使ってくれるというのが分かっているなら作るよっていうところがやっぱりたくさん出てきて、農家さんも本当に良いものが作れて誇りに思えると、子供たちも元気になると。環境も良くなるっていうことで、素晴らしいなと、そういう思いをしながら、帰ってきました。

#### 【八木委員】

残飯も集めてますよね。堆肥を作るのに。

#### 【別府委員】

素晴らしいですね、給食無償化って本当いいことだと思うんだけど、さっきみたいな高くなった分をプラスしてっていうようなサービスがもう縛られることになるから、無

償化はよかったんだろうけど本当によかったんだろうか、その自由度が本当少なくなっ  
たんじゃないかなと感じるところがあります。

**【都甲教育長】**

まあ、ちょっとね、危惧っていうか、無償化になったばかりに親御さんたちがその  
給食に対する興味っていうか、それが薄れてきてもいけないなと思ってるんですよ。だ  
からね、そういうところもみんな考えていかなきゃいけないのかな、そういうのは無  
償化になったからこそ、こういう我々行政にいろんなまた話をさせていただいて、限られ  
た予算の中ですけど、質を高めることは行政としてしていかなきゃいけないし、無償化  
をした責任でもあると思うんですよ。したからいいっていうわけじゃなくて。今年か  
らスタートしてもう1ヶ月経ちましたけどね、2ヶ月か。いろんな声もあると思うので  
やっぱりそれをどんどん拾っていきながら考えていきたいですね。

**【佐藤委員】**

インスタ見ると油津港のところに何かライフっていうお店があって、そこが無農薬のな  
んか野菜をできたときに出す。ずっとは出せないの。別府香織さんという方もです  
ね、すごくその辺。はい。

**【都甲教育長】**

学校にもいろいろ足を運んでいただいて、子供たちに対して。

**【佐藤委員】**

幼稚園にも来ていただきまして。

**【別府委員】**

それは挨拶してみたいですね。

**【八木委員】**

油津の栄養士さんですかね、もう素晴らしいですね。本当何か数字で見たら、食べて  
るようだけど実は食べてなくてね。残菜がなくても、1人の子が食べてるとか。そうい  
うもうね、ちゃんと現状わかってて指導されてるから。先生のその活動をうまくこう、  
そうですね。

**【佐藤委員】**

知識を持ってらっしゃる方がいらっしゃるんで、うまくそこんとこ繋がっていける  
と。

### 【黒木委員】

肥満の子なんかもちよっと目立ってきてるなっていうふうを感じるので、学校に行くたびに。やっぱり健康面ね、食べ物に対するその、食べればいっていいものでもなくて意味を考えて食べるっていう、そういういちからの感謝と理由はね、知る機会が何かあるといいですね。本当定期的にね。

### 【都甲教育長】

そうですね。何かこう、親御さんも巻き込んでね。やれると良いですよ。

### 【黒木委員】

保護者の方からはやっぱり給食費が無償化になったことで負担が減ってるので、もうやった一っていう。でも高校生の保護者からは間に合わなかったみたいな感じになってるけど、でもそこで浮いたお金を何に使うかっていう意識をちょっと、各学校でも何か話せる機会があればと。家庭教育学級とかそういった場面でもいいと思うので、担当の先生といい案がね。どこか学校がやってくれと、またそこがモデルになってくれるとね。

### 【八木委員】

昔は給食費をみんな集めてたじゃないですか。だから地域のことがよく分かったけど今は子供会も加勢してないし、どこに誰がいるか、どこの学校か、横の繋がりが全く分からないっていう話も聞きました。

### 【佐藤委員】

やっぱり一番教育長が言われたようにですよ、食に関するただだから。義務教育なんですけど、ただだからっていうので、その意識が薄れてしまうとですね、そこは怖いんですよ。もう本当に映画でも言ってたんですけど、これ体の3分の1は給食で作られてるんだから、だからものすごく大事な、しかも、2倍近く成長するわけですよ。学校で6歳からですよ。15歳ぐらいだったらもうパーッとおっきく。その成長する時に何を食べるか。またどんなものを選んで食べるかはものすごく大事なところだと。

### 【都甲教育長】

今何かこう見てて悲しくなるCMやってますよね。水飲んだこともあった家。給食だけがご飯だった、みたいな政府のやつかな。なんか見たことあるけどね。ああいうのもあったりなんかして。

### 【黒木委員】

でもすごい頑張ってもらってると思う。給食のメニューを見るとね。私たちの時には

なかったようなメニューがすごい出てきてるから。作ってくださる先生とかね、有志の方にはありがたいなと。

**【都甲教育長】**

それ、秘密な計算をしないと出ない。園の下の力持ちで支えてもらってますね、栄養教諭の先生たちにですね。

13 閉会